

様式第二号の八(第八条の四の五関係)

(第 1 面)

産業廃棄物処理計画書	
2021 年 6 月 17 日	
愛 知 県 知 事 殿	
提出者 住 所 愛知県知多郡東浦町大字藤江字亥子新田1-11 氏 名 株式会社LIXIL 常滑東工場 工場長 岡本 健児 (法人にあつては、名称及び代表者の氏名) 電話番号 056294-1001	
廃棄物の処理及び清掃に関する法律第 12 条第 9 項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。	
事 業 場 の 名 称	株式会社LIXIL 常滑東工場 東浦製造
事 業 場 の 所 在 地	愛知県知多郡東浦町大字藤江字亥子新田 1 番地の 1 1
計 画 期 間	2021年4月1日～2022年3月31日
当該事業場において現に行っている事業に関する事項	
①事 業 の 種 類	21. 窯業土石製品製造業
②事 業 の 規 模	2020年度 製造品出荷額 1 1 2 8 (百万円)
③従 業 員 数	5 1 人
④産業廃棄物の一連の処理の工程	原料 ⇒ 成形 ⇒ 乾燥 ⇒ 施釉 ⇒ 焼成 ⇒ 検査 品番切替時の土替土 ↓ 施釉ロス、残釉 ↓ 発生する不良品 ↓ 汚泥(未焼成ペケ) 汚泥(廃水処理汚泥) 陶磁器くず(焼成ペケ)

(第2面)

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項			
(管理体制図) 別紙1のとおり			
産業廃棄物の排出の抑制に関する事項			
① 現状	【前年度（ 2020年度）実績】別紙2のとおり		
	産業廃棄物の種類		
	排 出 量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】別紙2のとおり		
	産業廃棄物の種類		
	排 出 量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		
産業廃棄物の分別に関する事項			
①現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 別紙2のとおり		
②計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 別紙2のとおり		

(第3面)

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項			
① 現状	【前年度（ 2020 年度）実績】別紙2のとおり		
	産業廃棄物の種類		
	自ら再生利用を行った 産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】別紙2のとおり		
	産業廃棄物の種類		
	自ら再生利用を行う 産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		
自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項			
① 現状	【前年度（ 2020年度）実績】別紙2のとおり		
	産業廃棄物の種類		
	自ら熱回収を行った 産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量した 産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】別紙2のとおり		
	産業廃棄物の種類		
	自ら熱回収を行う 産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量する 産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		

(第4面)

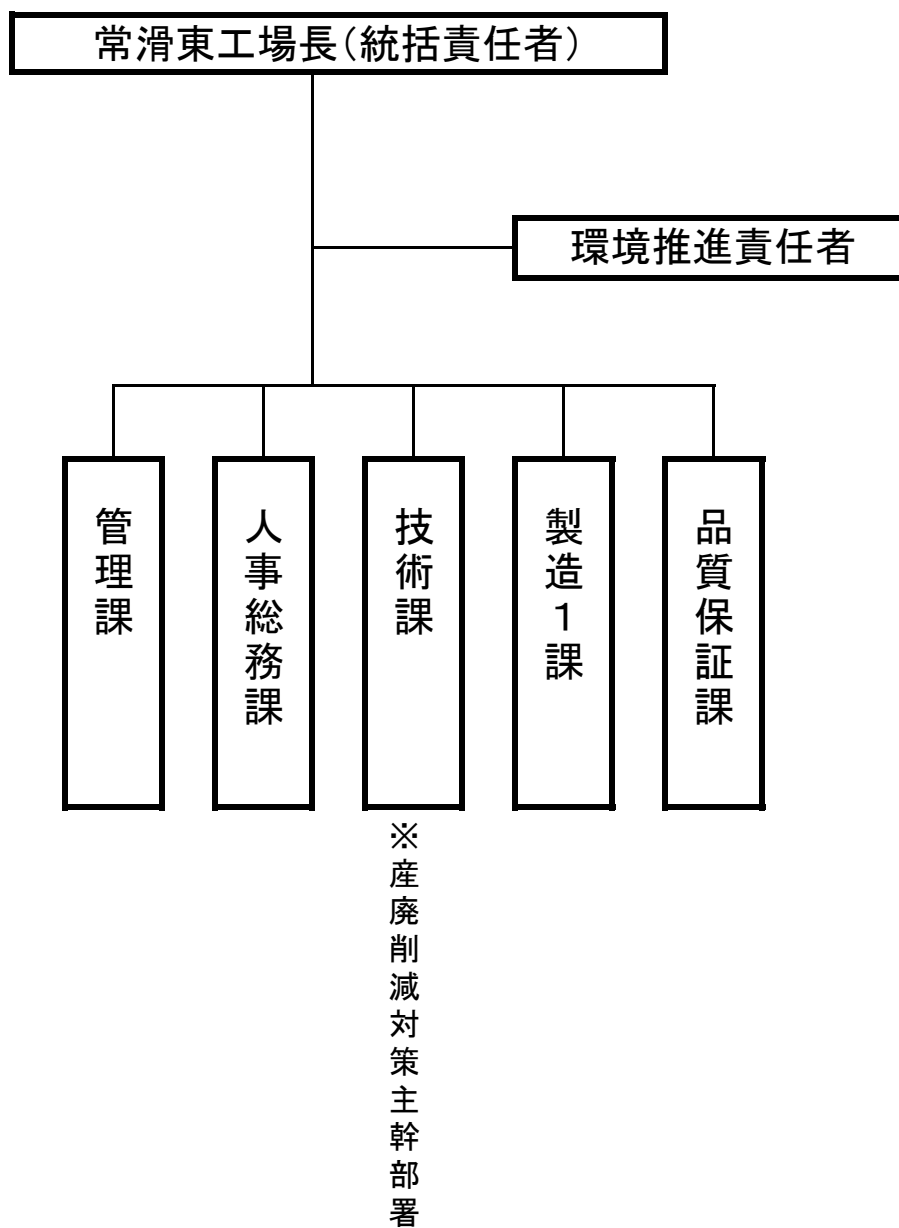
自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項			
① 現状	【前年度（ 2020 年度）実績】 —		
	産業廃棄物の種類	—	—
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	— t	— t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】 —		
	産業廃棄物の種類	—	—
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	— t	— t
	(今後実施する予定の取組)		
産業廃棄物の処理の委託に関する事項			
① 現状	【前年度（ 2020 年度）実績】 別紙2のとおり		
	産業廃棄物の種類		
	全 処 理 委 託 量	t	t
	優良認定処理業者への処 理 委 託 量	t	t
	再生利用業者への処 理 委 託 量	t	t
	認定熱回収業者への処 理 委 託 量	t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処 理 委 託 量	t	t
	(これまでに実施した取組)		

②計画	【目標】別紙2のとおり		
	産業廃棄物の種類		
	全 処 理 委 託 量	t	t
	優良認定処理業者への 処 理 委 託 量	t	t
	再生利用業者への 処 理 委 託 量	t	t
	認定熱回収業者への 処 理 委 託 量	t	t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処 理 委 託 量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		
※事務処理欄			

備考

- 1 前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに1枚作成すること。
- 2 当該年度の6月30日までに提出すること。
- 3 「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。
 - (1)①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
 - (2)②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。
 - (3)④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。
- 4 「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。
- 5 「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。
- 6 それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が3以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「―」を記入すること。
- 7 ※欄は記入しないこと。

別紙1 産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項
(管理体制図)



(別紙2-1 産業廃棄物処理計画書)

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状	【前年度(2020 年度)実績】													
	産業廃棄物の種類	陶磁器くず (社内リサイクル)	陶磁器くず (PTP端材)	陶磁器くず (社外リサイクル)	陶磁器くず (県外リサイクル)	陶磁器くず (埋立)	汚泥(排水 処理汚泥リ サイクル)	汚泥(社外 リサイクル)	汚泥(社内 リサイクル)	廃プラス チック(焼 却廃プラ)	廃プラス チック(固 形燃料)	木くず	複合品	管理型混 合廃棄物
	排 出 量	1,265t	46t	63t	584t	13t	321t	250t	769t	8t	3t	40t	3t	14t
	(これまでに実施した取組) ・品番替え時のロス削減 ・分別の徹底													
②計画	【目標】													
	産業廃棄物の種類	陶磁器くず (社内リサイクル)	陶磁器くず (PTP端材)	陶磁器くず (社外リサイクル)	陶磁器くず (県外リサイクル)	陶磁器くず (埋立)	汚泥(排水 処理汚泥リ サイクル)	汚泥(社外 リサイクル)	汚泥(社内 リサイクル)	廃プラス チック(焼 却廃プラ)	廃プラス チック(固 形燃料)	木くず	複合品	管理型混 合廃棄物
	排 出 量	1,265t	45t	62t	578t	12t	320t	247t	769t	8t	3t	40t	3t	13t
	(今後実施する予定の取組) 製造業であるため、排出量は生産量に大きく影響される。来年度目標は今年度と同等の生産量を確保できると仮定し、算出した。 ・不良率改善(製造条件の見直し)に取り組み、陶磁器くず(焼成ペケ)、汚泥(未焼成ペケ)の削減を目標とする。 ・作り過ぎロス低減に取り組み、汚泥(廃水処理、未焼成ペケ)の削減を目標とする。													

産業廃棄物の分別に関する事項

①現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) ・現状では、廃プラスチックが分別可能な混合廃棄物となっており、分別を行なっている。
②計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) ・廃プラスチックの分別を徹底し、再資源化及び産業廃棄物の削減に取り組む。

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項

【前年度(2020 年度)実績】													
産業廃棄物の種類	陶磁器くず (社内リサイクル)	陶磁器くず (PTP端材)	陶磁器くず (社外リサイクル)	陶磁器くず (県外リサイクル)	陶磁器くず (埋立)	汚泥(排水 処理汚泥リ サイクル)	汚泥(社外 リサイクル)	汚泥(社内 リサイクル)	廃プラス チック(焼 却廃プラ)	廃プラス チック(固 形燃料)	木くず	複合品	管理型混 合廃棄物
自ら再生利用を行 った産業廃棄物の量	1,265t	-	-	-	-	-	-	769t	-	-	-	-	-
①現状	(これまでに実施した取組) ・自社利用の原料としての再利用をすすめる。												
【目標】													
産業廃棄物の種類	陶磁器くず (社内リサイクル)	陶磁器くず (PTP端材)	陶磁器くず (社外リサイクル)	陶磁器くず (県外リサイクル)	陶磁器くず (埋立)	汚泥(排水 処理汚泥リ サイクル)	汚泥(社外 リサイクル)	汚泥(社内 リサイクル)	廃プラス チック(焼 却廃プラ)	廃プラス チック(固 形燃料)	木くず	複合品	管理型混 合廃棄物
自ら再生利用を行 う産業廃棄物の量	1,265t	-	-	-	-	-	-	769t	-	-	-	-	-
②計画	(今後実施する予定の取組) ・社外で処理委託する陶磁器くず、汚泥をできる限り社内で再利用する施策をすすめる。												

自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

①現状	【前年度(2020年度)実績】													
	産業廃棄物の種類	陶磁器くず (社内リサイクル)	陶磁器くず (PTP端材)	陶磁器くず (社外リサイクル)	陶磁器くず (県外リサイクル)	陶磁器くず (埋立)	汚泥(排水 処理汚泥リ サイクル)	汚泥(社外 リサイクル)	汚泥(社内 リサイクル)	廃プラス チック(焼 却廃プラ)	廃プラス チック(固 形燃料)	木くず	複合品	管理型混 合廃棄物
	自ら熱回収を行なった産業廃棄物の量	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	-	-	-	-	-	257t	-	-	-	-	-	-	-
	(これまでに実施した取組) ・汚泥(廃水処理汚泥)は、自社内の脱水施設により減量化を行なっている。													
②計画	【目標】													
	産業廃棄物の種類	陶磁器くず (社内リサイクル)	陶磁器くず (PTP端材)	陶磁器くず (社外リサイクル)	陶磁器くず (県外リサイクル)	陶磁器くず (埋立)	汚泥(排水 処理汚泥リ サイクル)	汚泥(社外 リサイクル)	汚泥(社内 リサイクル)	廃プラス チック(焼 却廃プラ)	廃プラス チック(固 形燃料)	木くず	複合品	管理型混 合廃棄物
	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	-	-	-	-	-	257t	-	-	-	-	-	-	-
	(今後実施する予定の取組) ・引き続き汚泥(廃水処理汚泥)を、自社内の脱水施設により減量化していく。													

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

項 目			産業廃棄物の種類														
			陶磁器くず	陶磁器くず	陶磁器くず	陶磁器くず	陶磁器くず	汚泥	汚泥	汚泥	廃プラスチック	廃プラスチック	木くず	複合品	管理型混合廃棄物		合計
			(社内リサイクル)	(PTP端材)	(社外リサイクル)	(県外リサイクル)	(埋立)	(排水処理汚泥リサイクル)	社外リサイクル	(社内リサイクル)	(焼却廃プラ)	(固形燃料)	(木くず)	(複合廃棄物)	(石くず)		
産業廃棄物の排出抑制に関する事項	排出量	①現状(前年度)	1,265	46	63	584	13	321	250	769	8	3	40	3	14		3,379
		②計画(目標)	1,265	45	62	578	12	320	247	769	8	3	40	3	13		3,365
自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	①現状(前年度)	1,265	0	0	0	0	0	0	769	0	0	0	0	0		2,034
		②計画(目標)	1,265	0	0	0	0	0	0	769	0	0	0	0	0		2,034
自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	①現状(前年度)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		0
		②計画(目標)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		0
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	①現状(前年度)	0	0	0	0	0	257	0	0	0	0	0	0	0		257
		②計画(目標)	0	0	0	0	0	257	0	0	0	0	0	0	0		257
自ら行う産業廃棄物の埋立・海洋処分に 関する事項	処分量	①現状	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		0
		②計画(目標)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		0
産業廃棄物の処理の委託に関する事項	全処理委託量	①現状(前年度)	0	46	63	584	13	64	250	0	8	3	40	3	14		1,088
		②計画(目標)	0	46	62	578	13	63	248	0	8	3	40	3	14		1,078
	優良認定業者への 処理委託量	①現状(前年度)	0	0	0	0	13	0	0	0	8	0	40	0	0		61
		②計画(目標)	0	0	0	0	13	0	0	0	8	0	40	0	0		61
	再生利用業者への 処理委託量	①現状(前年度)	0	46	63	584	0	64	250	0	8	3	40	3	14		1,075
		②計画(目標)	0	46	62	578	0	63	248	0	8	3	40	3	14		1,065
	認定熱回収業者への 処理委託量	①現状(前年度)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0			0
		②計画(目標)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0			0
	認定以外の熱回収を行う 業者への処理委託量	①現状(前年度)	0	0	0	0	0	0	0	0	8	0	0	0			8
		②計画(目標)	0	0	0	0	0	0	0	0	8	0	0	0			8

※現状(前年度):2019年度実績です。 前年対比 1% の削減を目標とします。